

県道飯田富山佐久間線の建設に伴う発掘調査

かわらいせき 川原遺跡 説明資料 in ひさかたウォーキング

一般財団法人長野県文化振興事業団
長野県埋蔵文化財センター

◎調査の概要

- ・所在地 飯田市下久堅知久平 1159 番地ほか
- ・調査面積 9,470 m²
- ・調査原因 県道飯田富山佐久間線の建設
- ・調査期間 令和4年4月11日～11月30日(予定)
- ・遺跡の立地 天竜川左岸の段丘上
- ・発見された主な遺構と遺物
 - 遺構 竪穴建物跡、土坑、溝跡
 - 遺物 縄文中期～晩期の土器・土偶・石器(打製石斧、石鏃、石匙、石錘)、弥生時代の土器・石器、須恵器、中近世陶磁器など



国土地理院 電子国土 Web より



遺跡遠景 (南上空から)

◎川原遺跡の調査

過去の発掘調査（昭和44・45年、昭和56年、平成28年）では、縄文時代の竪穴建物跡や土坑、縄文時代～中世の土器や石器、陶磁器などが確認されています。今回の調査では、土坑や溝跡などから縄文時代中期～晩期の土器・土偶、石器、弥生時代の土器、須恵器、中近世陶磁器などが出土しています。これから、過去の調査で竪穴建物跡が見つかった天竜川に近いやや小高いところの調査となるので、縄文時代や弥生時代の集落跡が見つかることが期待されます。



川原遺跡 今回調査の出土遺物（縮尺任意）